

令和5年度 宗谷管内ミドルリーダー養成研修

日時： 令和6年（2024年）1月30日（火）15:00～16:30

参加者： 管内教職員 23名

目的： 学校運営に積極的に参画する意欲を高める。

内容： 講話、質疑応答

○ 研修1【稚内市立宗谷小学校長 塩原 千夏 様】

「ミドルリーダーとは」

①ミドルリーダーに求められる資質や能力

- ・分掌や学年のリーダーとして主体的に、組織的に動ける。
- ・若年層教員の授業づくりや、温かい学級づくりの模範になることができる。
- ・課題意識を持ち、管理職や部内で共有することができる。

②ミドルリーダーのやりがいと魅力

- ・教育活動の前進を感じ、学校運営に参画することで学校を動かしていることが実感できる。
- ・後輩教員から憧れられる存在になれる。

③仕事と家庭、育児との両立等

- ・今までと同じようにはできなくなるため、割り切る事も重要、人生で今しかない貴重な時間を大切に。

④対話（3～4人のグループに分かれ下記議題について実施。）

- ・主体的・組織的に今やっていること。または、やってみたいこと。
- ・やりがいや魅力を感じるのはどんな時か。



○ 研修2【猿払村立拓心中学校教頭 松本 賢尚 様】

「教職員の学校経営参画意識を高める組織づくり」

①一人一人が学校経営参画意識を高めることの重要性

- ・学校の教育目標や経営方針を実現するために、協力関係が築かれ、コミュニケーションが円滑に進み、チームワークが強化できる。

②学校経営参画意識を高める組織づくりで教頭やミドルリーダーが果たすべき役割

- ・誤解や錯覚などの認識のずれの解消
- ・一部を切り抜いて理解したつもりにならないよう心掛ける。

③管理職のやりがいと魅力

- ・より広い視野に立った教育活動へのリーダーシップが発揮することができ、児童生徒の成長や地域の活性化に寄与することができる。



○ 参加者の反応

参加者からは、「管理職と若手教員、職員室全体を繋げる役割だと改めて感じた。」「職員間のコミュニケーションや環境づくりを進め、若手教員のサポートする役割だと再認識できました。」といった意見もあり、ミドルリーダーとしての役割を改めて考える研修機会となった。